

令和8年度主催事業 地域連携型クラブ活動事業
「Club M ～star & bird～」 実施要項

- 1 目的 地域で部活動の移行が進む中、子どもたちの活動の受け皿として、若狭地域の豊かな自然を題材に活動しながら、子どもたちの探求心や研究心を高め、興味・関心を引き出す活動を実施する。
- 2 主催 福井県立三方青年の家（若狭町鳥浜 122-27-1 TEL0770-45-0229）
- 3 日時 令和8年5月 ～ 令和9年2月まで
① 星の活動：毎月、第2金曜日の夜が基本となるが、これとは別に特別観察日を設ける。
※ 特別観察日は、天候の都合によっては中止になる場合がある。
② 鳥の活動：毎月、第3日曜日を基本とする。
※ ただし、講師の方々の都合や悪天候により、日程の変更はある。
※ ①も②も、観察会の当日に欠席する場合は、三方青年の家に電話連絡をもらう。また、参加の場合でも、保護者の送迎の有無等を確認する。
- 4 会場 福井県立三方青年の家【集合・解散場所】
① 星の活動：三方青年の家周辺
② 鳥の活動：三方青年の家および三方五湖周辺
- 5 参加対象 福井県内在住の小学生～中学生（家族での参加もできる）
- 6 内容 ① 星の活動
・ 望遠鏡と双眼鏡の使い方に親しむ
・ 季節ごとの星空を楽しむ
・ 惑星について知る
・ 星空と人々の関わりについて知る（七夕・中秋の名月）
② 鳥の活動
・ 双眼鏡の使い方に親しむ
・ エサ台や巣箱を作り、鳥を招待する
・ 三方五湖に飛来する鳥について知る
・ 鳥たちの姿（色・動き・鳴き声など）の観察を楽しむ

7 活動の予定

（1）定例活動（基本的に、①星の活動は第2金曜日の夜、②鳥の活動は第3日曜日の午前中に活動を実施する）

月／活動	①星の活動（第2金曜日）	②鳥の活動（第3日曜日）
5月	8日：さあ、はじめよう望遠鏡の使い方	17日：双眼鏡の使い方 スズメを見直そう
6月	12日：月について知ろう	21日：野鳥を招待しよう フィーダー作り
7月	10日：天の川について知ろう	19日：野鳥の会講師を招いて 夏の渡り鳥
8月	28日：夏の大三角と星座	16日：湖と鳥 ミサゴとタカの仲間たち
9月	11日：北の空の星	27日：湖と鳥「飛ぶ宝石」カワセミを探そう
10月	9日：地球の周りにある星 土星	18日：小鳥の集まる庭 エナガ・シジュウカラ
11月	13日：双眼鏡で星を見よう	15日：巣箱を作ろう
12月	11日：冬の大三角と星座	20日：白鳥とカモが来る湖
1月	15日：ほうき星	17日：野鳥の会講師を招いて 冬の渡り鳥
2月	12日：まとめ	21日：まとめ

(2) 特別活動 (定例活動とは別に、その時・季節にしか見ることができない事象に対して特別な日程を組み活動を実施する)

月/活動	① 星の活動	②鳥の活動
5月	22日:月のクレーターをしてみよう	(*②鳥の活動は。定例活動のみです。)
8月	7日:星座と流れ星	

- 8 講師
- ① 星の活動
- ・中塚 一成 氏 (星空案内人)
 - ・その他、県内の星空案内人の方々
- ② 鳥の活動
- ・辻井 政士 氏 (三方青年の家 職員)
 - ・福井県里山里海研究所
 - ・日本野鳥の会 福井県支部講師

- 8 費用 無 料
- ※ただし、活動について必要となるものが出たときにはお知らせいたします。

- 9 申込み 4月25日(日)より募集開始
一年間にわたり、参加希望者は受付をする。

<申し込み方法>
電話連絡か、右のQRコードを読み取り、
申し込みフォームにて申し込む。



- 10 持ち物 お茶(水筒) 筆記用具 雨天時の次の日(長靴、防寒着など)
その他、各自で必要なもの

- 11 その他
- ・チラシは令和8年4月24日(金)までに嶺南各市町の教育委員会(ボックス投函を含む)に届くように作成する。
 - ・嶺南管内の中学校については、各学校に出向き、直接、所長より学校長に説明を実施する。
 - ・案内(チラシ)では、天候等によりプログラムの中止および変更の場合もあることを載せる。
 - ・望遠鏡など、高価な機材については、施設のものを貸し出し使用する(ただし、個人の機材については、各自でしっかりと管理をすること)